

2008年1月25日

報道関係各位

東京急行電鉄株式会社

## 田園都市線レール不具合の原因および対策について

24日(木)に田園都市線用賀駅構内で発生したレール不具合により、お客さま、関係各位にはご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。

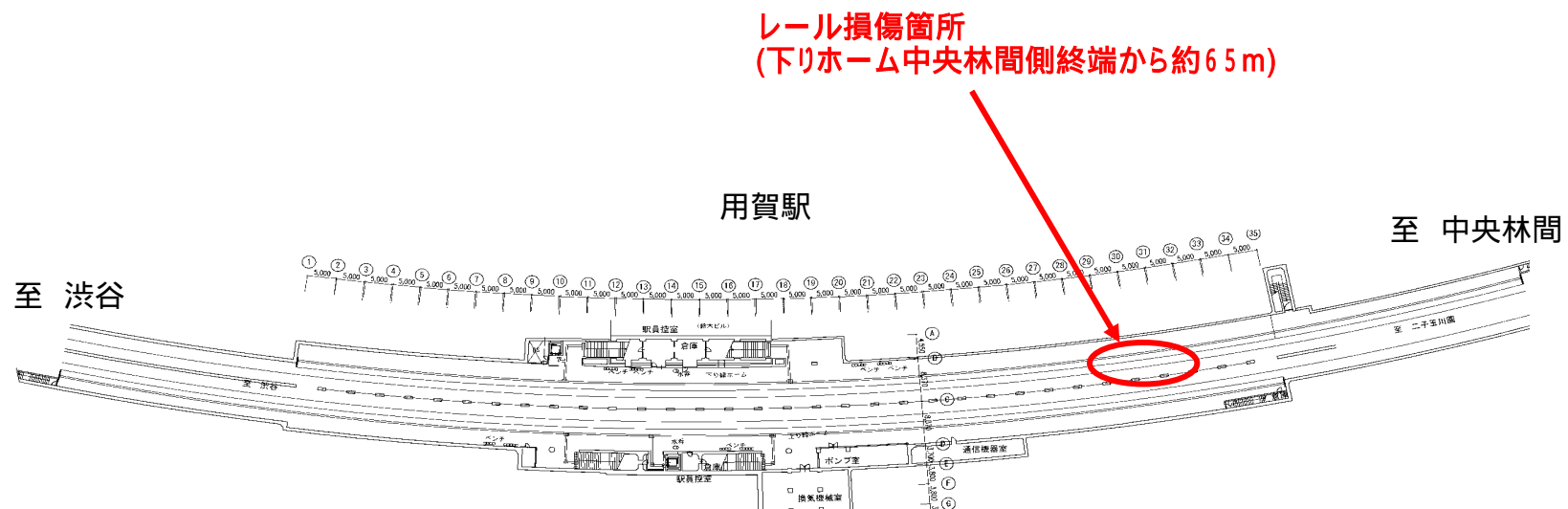
弊社において調査を行った結果、レール不具合の原因が判明いたしましたので、対策と併せて下記の通りお知らせ申し上げます。

### 記

1. 発生日時 2008年1月24日(木)20時00分ごろ
2. 発生場所 田園都市線用賀駅の下り線レール(中央林間側から3~4両目付近)  
(所在地:東京都世田谷区用賀2-39)
3. 状 況  
20時00分ごろ、田園都市線用賀駅に差しかかった中央林間行きの下り列車(各駅停車)が停止信号を受け、停止しました。確認したところ、前方のレール溶接部分に約3~4mmの隙間が空いているために、信号が流れない状態となっていることが判明しました。その後、応急措置によりレールをつないで信号が流れるようにして、21時41分ごろに全列車各駅停車で運転を再開しました。
4. 原 因  
当該レールの溶接部分に施工不良が認められました。
5. 対 策  
24日(木)の営業運転については、応急措置として、レールをつないで信号が流れるようにした後、隙間がそれ以上開かないように補強を行いました。また当該箇所については、時速25kmの徐行運転を行いました。  
なお終電後に当該部分のレールを交換し、本日は始発から通常どおり運行しています。  
また、当該箇所と同一条件で施工したレール溶接箇所については、本日始発までに同様の不具合がないか点検し、異常のないことを確認しております。

以 上

ホーム階全体平面図



レール損傷箇所  
(下りホーム中央林間側終端から約65m)

用賀駅

至 中央林間

至 渋谷

至 二子玉川線

レール不具合箇所(側面)



レール不具合箇所(断面)

施工不良箇所

レールとレールをつなげる為、炎でレール温度を一時的に上げますが、その炎の位置がずれていたことにより、接合面が未接合となった。

